

令和4年度「コミュニケーション英語Ⅱ」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
2	普通科 理数科 美術科	外国語	コミュニケーション 英語Ⅱ	普通科文系4 普通科 理系・理数科3 美術科4	必修
教科書	ELEMENTⅡ Communication EnglishⅡ(啓林館)				
副教材	ターゲット1900(啓林館)				

学習の目的	
1	様々なジャンルの英語の文章を読んで、その内容を把握し、その内容について自分の考えを英語を使って書いたり、話したりする人材に育つこと。
2	特定のテーマについて、様々な視点で自分の意見を英語を使って、相手とやり取りができる人材に育つこと。

学習の目標	
I 【習得】の段階 知識・技能	様々なジャンルを読み、その内容について自分の考えを述べるための語彙や文法を身に付けることができる。
C 【活用】の段階 思考・判断・表現	様々なジャンルの文を読み方や、自分の考えを述べたり、書いたりするために積極的に語彙や文法を活用することができる。
E 【探究】の段階	授業を通して学んだ内容に関連する世界の社会的課題や問題点について 自分なりに調べ、その解決策を英語を用いて発信したり、議論することができる。

つけたい力	みつめる力	課題に気づく力・要約する力・語彙や文法の習得力・段取り力
	きわめる力	タイムマネジメント力・実践力・行動力・協働力
	つなげる力	共感力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力

評価方法		I	C	E
◇	1学期・2学期・学年末考査を実施します。大学入試個別試験に対応できる記述問題で「思考を促す問題（思考判断表現）」に関する記述問題を出題します。	○	○	
◇	知識・技能に関しては、二高ICEモデルのチェックリスト（評価表）を使用し、自己評価・相互評価・教師評価を行います。	○	○	
◇	googleclassroom「課題」を活用し、思考を促す問いの記述課題を出題します。		○	○
◇	スピーキング、ライティングのパフォーマンステストを実施します。			○
◇	プレゼンテーションやディベートなどの活動について自己評価・相互評価・教師評価を行います。		○	○

履修上の注意および学習のアドバイス等	
◇	予習を前提とした授業を行っていきます。積極的に予習し、授業に臨むこと。辞書や文法書を積極的に活用します。
◇	学習時間を確保し、継続した学習を意識すること。特に辞書の活用を意識すること。
◇	プレゼンテーションやディベートなど、英語を話したり聞いたりする活動に積極的に取り組むこと。
◇	日々の学習として音読活動、リスニング、スピーキング練習などを行うこと。

年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考查	思考を深める問い (C・E)	I: 知識理解	C: 思考判断表現	E: 学びに向かう力・人間性等
第1学期	4		<ul style="list-style-type: none"> ・題材の説明する内容を理解する。またそれについて話したり、文章を書いたりする。 ・文章の主題文や支持文を理解し、論理の構成や展開に注意しながら読むことができる。 ・日常的な話題や社会的な話題についての文や物語を読み、未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用しながら要点を理解したりすることができる。 ・スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、身近な出来事や日常的な話題、社会的な話題について、ICTなど様々な手法を効果的に用いながら、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝えることができる。 ・数値や具体的な根拠、理由を示し、意見や主張などを論理性に注意しながら伝えることができる。 	中間考查 期末考查 パフォーマンステスト	次のことについて意見交換、エッセイライティング、リサーチ、ディベート、プレゼンテーションを行う。 ・文化によって異なる非音声的言語について ・スティーブジョブズについて、歴史的な発明について ・Jack Andrakaについて、世界を変えた十代の偉業について ・Irena Sendlerについて、自分にとってのヒーローについて ・宇宙ゴミについて、宇宙探査に資金を費やすべきかについて ・Bruce Edwardsについて ・山中伸弥博士とiPS細胞について ・品種改良とそのメリット、デメリットについて ・20世紀初頭の日系カナダ移民について、外国人差別について ・バイオテクノロジーについて、地球温暖化について			
	5							
	6							
	7							
第2学期	9		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な話題や社会的な話題について、聞いたこと、学んだこと、経験したことに基づき、情報や考え、気持ちなどを、複数の段落からなる文章で詳しく書くことができる。 ・多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、論理の構成や展開を工夫して詳しく書いて伝えることができる。 ・社会的な話題や時事問題について話されている対話や説明、討論などを聞き、平易なものであれば情報や考えなどの概要や詳細をとることができる。 	中間考查 期末考查 パフォーマンステスト				
	10							
	11							
	12							
第3学期	1			学年末考查 パフォーマンステスト				
	2							
	3							

※行事等で変更になる場合があります。